

因島村上水軍陣太鼓の復活と保存、普及活動

中国新聞^{いんのしまみなみ}因島南販売所 所長 岡村俊典

長年にわたり伝統文化を継承 地元子どもたちへの太鼓指導に尽力

●実施時期

昭和49年～

●実施地域

広島県尾道市中心

●活動概要

中国新聞因島南販売所所長の岡村俊典さんは、村上水軍の「三島流 水軍書」にある譜面を現代風にアレンジし、水軍陣太鼓を再現した。昭和49年、因島市（現尾道市）の青年団を中心に「村上水軍陣太鼓保存会」（メンバーは22人）を結成、演奏を続けながら普及に努めた。地元小学校で13年間、ボランティアで太鼓指導するなど、伝統文化の継承に尽力している。

太鼓保存会は、日韓国交正常化40周年記念にソウルで開催された日韓交流大祝祭に日本代表チームとして出場した。長年の功績に対し、平成20年4月、尾道市から地域貢献の感謝状が贈られた。

* 岡村俊典（おかむら・としのり）



「全国新聞販売フォーラム2007広島」の懇親会場で演奏を披露する因島村上水軍陣太鼓保存会のメンバー（横笛を吹く受賞者）



「日韓交流大祝祭」に日本代表チームとして出場 2005年2月20日開催（ソウルのオリンピックスタジアム）



◀◀地元の中学生に太鼓と笛を指導する受賞者



「日韓交流大祝祭」で授与されたクリスタルを持つ受賞者

因島村上水軍陣太鼓創立30周年記念公演

だから 大因島 30年 和郷

因島村上水軍陣太鼓

とき 平成17年2月13日(日)
13:30～(13:00開場)

ところ 因島市民会館大ホール

協力会費 一般 1000円
小・中学生 500円

入場整理券 一般 1000円

とき 平成17年2月13日(日)
13:30～(13:00開場)

ところ 因島市民会館大ホール

主催 因島村上水軍陣太鼓 共催 (社)因島観光協会 夢鼓舞30委員会
後援 因島市 因島市教育委員会 因島市工務部 因島市文化協会
因島市文化財協会 因島市児童会連合会 因島市女性団体連合会
因島市子ども会連合会 因島市ライオンズクラブ
因島市スタークラブ 因島せとちライオンズクラブ 国際ソロプチミスト因島
(社)因島青年会連合 中国新聞備後本社

資源を活かして 車椅子をゲット!!

徳島新聞みつわ会美馬支部

地域住民と所長夫人が 協力して回収したアルミ缶により 車いす寄贈

●実施時期

平成16年～

●実施地域

徳島県美馬市（協町・穴吹町・美馬町）、美馬郡（つるぎ町）

●活動概要

徳島新聞みつわ会美馬支部は平成16年から、美馬市・郡内の徳島新聞販売所の所長夫人6人が知人や販売所スタッフ、地域住民の協力を得て、アルミ缶の回収を始めた。18年からは業者に売却した資金で車いすを購入し、社会福祉協議会や福祉施設等に毎年寄贈している。

寄贈した車いすは、今年で3台目。「小さな親切」運動徳島県本部から、平成20年度実行賞の表彰を受けた。

*
徳島新聞みつわ会＝徳島新聞系統の110販売店協同組合加盟の所長夫人で組織。大館恵子（おおや・けいこ）幹事。

■1台目寄贈（平成18年3月2日）



■2台目寄贈

●徳島新聞販売店協同組合

みつわ会美馬支部は4月27日、アルミ缶回収で得た資金で、つるぎ町社会福祉協議会に、車椅子を寄贈しました。

知人やスタッフに呼びかけて、2004年より、アルミ缶回収を実施しています。一人でも多くの方の利用に役立てていただければと思います。



販売店ミニコミ誌「ゆうま」第25号（平成19年6月1日発行）より抜粋

■3台目寄贈

老人ホームに
車いす贈る
徳島新聞販売店協同組合美馬支部は、二日、アルミ缶回収で得た資金で、美馬市協町の

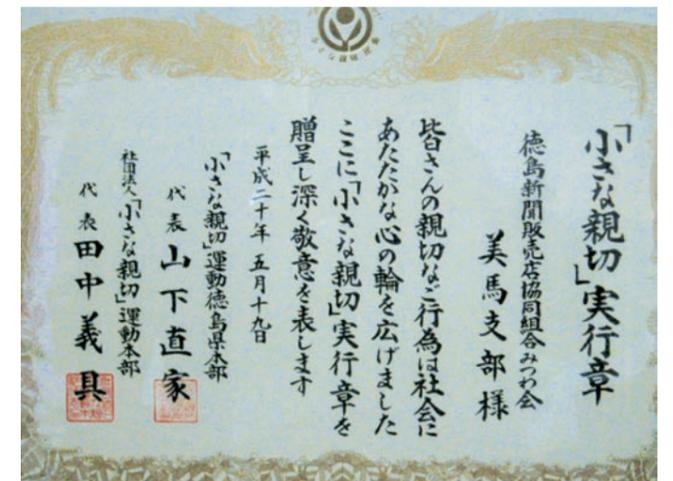
みつわ会美馬支部のメンバー（後ろ側4人）から贈られた車いすに乗るお年寄り。美馬市協町のひかり荘

養護老人ホームひかり荘に車いす一台を贈った。

ひかり荘での贈呈式には、支部員四人や入所中のお年寄り約八十人が出席。梶浦仁志施設長が「施設のみならず活用させてもらいます」と礼を述べた。

みつわ会美馬支部では二〇〇四年から、地域住民の協力を得てアルミ缶を回収している。一昨年から福祉施設などへの車いすを贈って、今回で三台目になる。

徳島新聞 平成20年3月13日付朝刊



「小さな親切」運動徳島県本部（山下直家代表）は十九日、徳島市内のホテルクレメント徳島で二〇〇八年度実行賞贈呈式を開き、清掃やボランティア活動に取り組んだ二十五人と、団体を表彰した。

関係者ら約百人が出席。受賞者を代表して徳島文理小学校六年の福岡扶美さん（三）が「これからも人を思いやる心を持ち続けたい。小さな親切が広がることを願っています」と述べた。福岡さん以外の受賞者、団体は次の皆さん。

【個人】上藤学、山本光行、志磨久美子、田村

チツ子、飯塚祥平、川北倫生、山下一誠、福良陽子、佐藤智也、四宮佑一朗、新居夢加、山口健太、生野さつき、福井貴太、篠原芽里、阿部真、桑江朱里、安定美津姫、福井清夏、和田康佑、森彩良、野崎雅弘、青木映璃、若林宏明

【団体】徳島新聞販売店協同組合みつわ会美馬支部、安らぎミュージックグループ

清掃や奉仕活動取り組み
25人と2団体を表彰
「小さな親切」運動県本部

山下代表から表彰される受賞者
「ホテルクレメント徳島」

徳島新聞 平成20年5月20日付朝刊

「車いす送迎車を贈ろう！」 キャンペーン

西日本新聞エリアセンター連合会

車いす送迎車が不足しているという 隠れた需要に着眼 多くの人の共感集めるキャンペーンを展開

- 実施時期
平成14年5月～
- 実施地域
沖縄を除く九州全域
- 活動概要

西日本新聞エリアセンター連合会は平成14年5月から、購読料の一部積み立てと、エリアセンターと営業部員双方からの負担金などを原資として、車いすを搬送する「車いす送迎車」を九州全域の福祉施設や社会福祉協議会などに贈呈した。

西日本新聞創刊125周年を機に、車いす送迎車が不足している現実に目を向けてスタートした活動。多くの個人や企業の賛同を得て多額の寄付を集め、これまで46台の車いす送迎車を贈呈した。

贈呈先からは「施設外の行事等への参加が可能になった。車いすからの乗り降り作業が軽減され助かっている」などの喜びの声が寄せられている。

*
西日本新聞エリアセンター連合会=西日本新聞系統の九州・山口県の995販売所が加盟。新田快夫(しんた・やすお)会長。

■キャンペーンPRリーフレット

みなさまの西日本新聞のご購読によりおかげさまで新たに「車いす送迎車」1台を贈ることができました。今後は西日本新聞は福祉・ボランティアキャンペーンを推進してまいります。

西日本新聞をお届けするエリアセンター(AC)

- AC福岡 第一 TEL. 865-8167 ●AC福岡 第二 TEL. 801-1993 ●AC福岡 第三 TEL. 804-0172
- AC福岡 第四 TEL. 801-0447 ●AC福岡 第五 TEL. 866-3127 ●AC福岡 第六 TEL. 804-6777
- AC福岡 第七 TEL. 871-0955 ●AC福岡 第八 TEL. 861-2588 ●AC福岡 第九 TEL. 804-2393
- AC福岡 第十 TEL. 863-6276 ●AC福岡 第十一 TEL. 804-6966 ●AC福岡 第十二 TEL. 804-6966

みなさまの一部一部の購読が財源になりました!

車いす送迎車を贈ります!

不足している「車いす送迎車」を贈るため、私たち西日本新聞エリアセンター(販売店)はがんばっています。西日本新聞への応援をよろしくお願いいたします。

西日本新聞エリアセンター連合会

「車いす送迎車を贈ろう」キャンペーン

みなさまの一部一部の購読が財源になりました。

「NPO法人 そよがぜ」様へ贈呈しました。

西日本新聞エリアセンター(販売店)では2002年から「車いす送迎車を贈ろう」キャンペーンを行っています。今回は都市圏中央グループから、福岡市博多区の「NPO法人 そよがぜ」様へ車いす送迎車を贈呈いたしました。贈呈式は2008年5月11日に行われました。

西日本新聞エリアグループ 都市圏中央 会長 新田 快夫さん

「そよがぜ」さんの「お年寄り同士がお互いを助けあう」という方針には大変共感を覚えました。買い物や送迎作業など、いろいろな場面でも活用して、困ったときにお互いが助けあうことを目指した活動を続けています。被災時、商店街の「そよがぜ」商店街は、その交流のための多目的スペースです。今回いただいた車いす送迎車は、この助け合いの場面で使えます。困窮への対応にも大いに役立ちます。みなさまの応援のおかげです。今後とも西日本新聞への応援をよろしくお願いいたします。

西日本新聞エリアグループ 都市圏中央 会長 新田 快夫さん

「そよがぜ」さんの「お年寄り同士がお互いを助けあう」という方針には大変共感を覚えました。買い物や送迎作業など、いろいろな場面でも活用して、困ったときにお互いが助けあうことを目指した活動を続けています。被災時、商店街の「そよがぜ」商店街は、その交流のための多目的スペースです。今回いただいた車いす送迎車は、この助け合いの場面で使えます。困窮への対応にも大いに役立ちます。みなさまの応援のおかげです。今後とも西日本新聞への応援をよろしくお願いいたします。

車いす送迎車とは? 車いす送迎車とは福祉車両のごことです。後部座席のスロープを使って車いすのまま乗り降りができるのが特徴。利用者も支障する側も負担が軽くなります。

5月11日の贈呈式の様子

西日本新聞

「車いす送迎車を贈ろう」キャンペーン

西日本新聞創刊125周年を記念して、2008年からはじめた「車いす送迎車を贈ろう」キャンペーン。今回は、医療法人 厚心会 百武整形外科病院 通所リハビリテーション J-HARTY様へ車いす送迎車を贈呈しました。

5月13日 贈呈

車いす送迎車とは、車いす送迎車とは後部座席のスロープを使って、車いすのまま乗降できる福祉車両のごことです。後部座席の斜め下向きにスロープが伸び、車いすを乗せたり降ろしたりすることができます。

「点字プリンターを贈ろう」キャンペーン

今年130周年をむかえる西日本新聞では、読者の皆様への貢献事業として「点字プリンターを贈ろう」キャンペーンをスタートさせました。スローガンは「視覚に障害のある方にも活字文化を」。点字作業を手助けする点字プリンターを地域のさまざまなボランティアグループに寄贈することです。より多くの方に送呈したいと考えており、2008年度中に九州全域で13台の寄贈を行いました。

1月17日、「エボカル武雄フレンズ」様へ点字プリンターを寄贈しました。

エボカル武雄フレンズ 後川 静枝さん

「エボカル武雄フレンズ」は、武雄市に単身で住んでいる高齢者をつなぐ、と創設されたボランティアグループです。平成12年に武雄市役所 認定資料館がオープンしてからは、「より良い暮らし」を目指して、エボカル武雄フレンズの活動を広げよう」との思いで活動しています。今年130周年を機に、視覚に障害のある方にも活字文化を。点字作業を手助けする点字プリンターを地域のさまざまなボランティアグループに寄贈することです。より多くの方に送呈したいと考えており、2008年度中に九州全域で13台の寄贈を行いました。

エボカル武雄フレンズ 会長 道徳 博

今年西日本新聞創刊130周年、そして在籍総数100周年の節目を迎えます。みなさまの応援により、点字プリンターを贈ることで、視覚に障害のある方にも活字文化を。点字作業を手助けする点字プリンターを地域のさまざまなボランティアグループに寄贈することです。より多くの方に送呈したいと考えており、2008年度中に九州全域で13台の寄贈を行いました。

点字プリンターとは、点字プリンターはパソコンで点字を打ち出すことができます。点字プリンターは、点字を打ち出すことができます。点字プリンターは、点字を打ち出すことができます。

0120-44-0120

読者、地域とともに

西日本新聞創刊130周年
西日本新聞エリアセンター連合会
地域・読者とともに
会長 新田 快夫

販売の現場から

読者、地域とともに

西日本新聞創刊130周年

西日本新聞エリアセンター連合会

地域・読者とともに

会長 新田 快夫

販売の現場から

読者、地域とともに

西日本新聞創刊130周年

西日本新聞エリアセンター連合会

地域・読者とともに

会長 新田 快夫

■車いす送迎車贈呈先からの声

「社会福祉法人 PAL」(福岡市南区)

平成19年2月の贈呈以来、毎日頻りに車を活用。利用者の送迎のみに限らず、社会見学等への移動の際にも活用されています。代表の中牟田英生様からは「現在、利用者32人に対して車いす送迎車2台とワゴン車2台で対応しており、贈呈された車いす送迎車もフル稼働し、大変重宝しています。利用者の感想は、他の車両と比べて乗り降りの際の負担が少なくスムーズに利用できると好評です。また、それを補助する職員も、車いすからの乗り降りを考えると非常に作業が軽減され助かっていると喜んでます。利用者に乗せて移動する際も、小回りが利き、運転をする職員の多くが女性職員であることを考えても、非常に有難いものです」とのことでした。

社会福祉法人 郷寿会、特別養護老人ホームの「あさひ園」(八代市)

デイサービスを受けるために通所される利用者を送迎するために毎日使用されています。月間平均40回使用されており、寝たきりのお年寄りや車いす使用者の自宅まで送迎、また特別養護老人ホーム入所者の病院通院などに有効活用されています。車いすを使用しない通所者などにも助手席に乗せることができるそうです。代表の福岡隆様から「贈呈されたのが軽自動車ということで女性職員も運転がしやすく、狭い幅員の道や玄関前まで車を横付けすることができ、送迎の時間短縮・労力軽減にとでも役に立っています。車いす使用者は自身の身体的事情から『外出や施設利用はもうできないのでは』と、考え、自宅にこもったままになりがちだが、近年のケアマネジャー制度の確立と車いす送迎車両で自宅に迎えに行くことで、他のお年寄りや触れあう機会もでき、リハビリも積極的になれました。また、要介護者を自宅から外出させることで、お年寄りを自宅で介護している介護者にとっても、精神的や体力的負担が軽減されるというメリットがあります」とのご報告がありました。